フォトレポート

しもつま砂沼フェスティバル2015

下妻の秋を堪能するイベント「第25回しもつま砂沼フェスティバル2015」が10月17日(土)・18日(日)の2日間、砂沼サンビーチで開催されました。両日とも晴天に恵まれ、県内外から2万2千人が訪れました。

10月18日の「第28回砂沼フレンドリーフェスティバル」では、体験イベントのクライミングウォールやジャンプゾーンが人気を集め、来場者を楽しませていました。特設ステージでは、茨城県内初のご当地アイドルとして誕生した「しもんchu」が、4年間のアイドル活動に幕を下ろすライブに解散を惜しむファンが集まり、ファイナルコンサートを盛り上げました。

市民交流広場「市民ステージ」(もみの木保育園)

来場者でにぎわう商工まつり「青空市」

体験イベントコーナー
「ジャンプゾーン」

消費者行政活性化社会実験事業
チャレンジショップ(下妻中学校)

いばらき都市緑化フェスティバル
「鉢花等の無料配布」

「砂沼フェス」に2万2千人　下妻の秋のイベント楽しむ!

キャンドルナイトしもつまやちよ2015

「平和への祈り、願い」をテーマに、一般社団法人下妻青年会議所が主催する「キャンドルナイトしもつまやちよ2015」が10月17日の夜、砂沼サンビーチ・多目的広場で開催されました。

約1万本のキャンドルを使い、平和への象徴である「折り鶴」と下妻市からよく見える「筑波山」をモチーフにデザイン。
筑波大学の貝島桃代研究室に通う大学院生たちが考案しました。

下妻市と八千代町の幼・保育園の園児約4,400人が参加した「夢キャンドル」は、9月の関東・東北豪雨で被災したおともだちに向けた応援メッセージがつづられました。

官公庁広場「点字体験コーナー」

農畜産まつり
「ローズポークBBQ試食」

ステージプログラム
(琉球創作太鼓零演舞)

4年間のご当地アイドル活動に幕

さよなら「しもんchu」

茨城県初で誕生した下妻発ご当地アイドル「しもんchu」が、砂沼フレンドリーフェスティバル2015のメインステージでファイナルコンサートを行いました。

「しもんchu」の最後を見届けようと県内外から集まったファンの前で、デビュー曲の「恋の砂沼サンビーチ」など5曲を熱唱。「みさきんぐ」こと池田美咲さんは「たくさんの応援ありがとうございました。これからも下妻を好きでいてください」とファンに感謝しながら下妻をPR。「まいまい」こと内田麻衣さんは「たくさんの人に出会えたことに感謝しています。支えていただいた皆さん、ありがとうございました」と声を詰まらせました。

有終のステージで2人からマイクを贈られた稲葉市長は「4年間、下妻をしっかりと応援していただいた。厚くお礼を申し上げます。これまでの経験を生かして大きくはばたき、健康で笑顔いっぱいの人生を送ってほしい」と感謝の言葉を述べました。

最後に、駆け付けた元メンバー4人から、「しもんchu」の2人とプロデューサーの内山学さんに花束が贈られました。

ポーズを決める「しもんchu」
みさきんぐ(左)、まいまい(右)

稲葉市長にマイクを渡す
「しもんchu」メンバー

「しもんchu」ファンに担ぎ出される
内山プロデューサー

ファイナルコンサートで熱唱する
「しもんchu」メンバー

「広報しもつま」と歩んだ4年間

いつも笑顔で下妻をPR

「しもんchu」がデビューしたのは、2011年10月の砂沼フレンドリーフェスティバル。下妻市商工会青年部が主催する同フェスの実行委員長を務めた内山学さんが企画し、オーディションを経て、県西地域からメンバー7人が決まりました。

メンバーは仕事や学業を抱えての活動から延べ11人が入れ替わり、2014年12月からは2人になっていましたが、4年間にわたるアイドル活動は下妻市のPRやイメージアップに大きく貢献してきました。

いつも笑顔で下妻をPRする「しもんchu」の活躍は、「広報しもつま」でも表紙や特集、まちのわだいに登場しています。ビアスパークしもつまのレストランをレポートしたり、市の観光PR動画で砂沼の桜や小貝川ふれあい公園のポピー畑で撮影したり、下妻甘熟梨のPRで都心にでかけたりと、下妻のいいところをコツコツと広めてくれました。

砂沼フレンドリーフェスティバル2011で7人デビュー初ライブで「恋の砂沼サンビーチ」など4曲を披露

広報しもつま2014年6月号・表紙
「花のまち しもつま」をPR

広報しもつま2014年3月号・表紙
「下妻産いちご」をPR

広報しもつま2012年11月号・表紙
デビュー1周年記念ライブ